

<http://www.tokyo-hachioji-probusclub.jp>

2005・7～2006・6 テーマ『タヤけのまちの明日を照らそう』

## 平成18年の新春を迎えて

大野 聖二



皆様あけましておめでとうございます。平成18年の新春を健やかにお迎えになったこととお慶び申し上げます。かつてプロ野球全盛時代は、18という数字はエースナンバーとして、そのチームの最強投手の背番号でした。どうしても勝たなければならない、大事な試合のマウンドに見られたナンバーです。平成時代は、株価の大暴落から不況が始まり、金融機関の倒産により波及した経済危機、これに派生したリストラ、更に震災等の天災があり少子高齢化と多難な時代でした。18年目の今年辺りから立ち直ってほしいと期待しています。

少子化対策は性の意義をもっと若い人たちに理解していただく以外にありませんが、高齢化対策については、プロバスクラブの役割が大きいと思います。かつては70才を古稀と称したようですが、プロバスクラブの平均年齢で、まだまだ働き盛りです。今年から古稀は百才と棚上げすべきだと思っています。

昨年は10周年記念行事にご協力いただき有難うございました。今年2月から「生涯学習サロン」が始まります。永井委員長を中心に、複数の発表者による新しい方式を取り入れてあります。この企画や11年目を迎えたクラブ活動に新風をもたらせるようなご提案等をお待ちしております。

1995年にピーター・ドラッカーが「未来への決断」の中で知識は資産であると断じ、継続学習と、それが推進する自由な柔軟な組織の非営利団体の活動に期待しています。私たちは選ばれた高齢者のグループとして、私たちでなければ出来ない社会への貢献と、生き甲斐の場があることに意義を見だし、皆様と協力して来るべき平成ルネッサンスの先駆けとなる、そのようなきっかけを作り出せば素晴らしいと初夢の課題にしたいと思います。今年もいっそうのご協力をお願いいたします。

## 第122回例会

日 時 : 平成17年12月8日(木) 12:30～14:30

場 所 : 八王子エルシィ

出席者 : 46名 出席率77% (会員総数62名、うち休会2名)

1. 徳永例会委員長の司会で定時に開会。会員 秋山邦博様 11月24日ご逝去、哀悼の意をささげる黙祷
2. 会食
3. 大野会長挨拶

早くも12月にはいりましたが、この年度も半年経過しました。この間、10月の十周年記念事業には、皆さん方総動員で活躍していただき、おかげで心に残る行事ができました。たいへんご苦勞様でした。また、11月のいちょう祭りでは、二つの会場でプロバスクラブのみなさんに協力していただき、なごやかな雰囲気の中なかで終わることができました。ご協力ありがとうございました。

秋山邦博さんが11月24日にご他界されました。秋山さんは、第7回プロバス生涯学習サロンの閉講式の際には、講師として特別講話をしていただきました。これからのご活躍を楽しみにしていましたが、ご逝去されてしまふことに惜しいことと思います。

今日は今年最後の例会ですが、楽しくお過ごしください。

## 4. 幹事報告(佐々木幹事)

- ①いちょう祭りの協力: 二つの会場で実施したが、巡回を行ったこともたいへん好評であった。多くのプロバス会員の協力があり、感謝したい
- ②会員動向: 秋山邦博会員11月24日ご逝去、25日お通夜、26日葬儀告別式があった。会長名で献花・弔電、多数のプロバス会員が参列した。残念なことであるが、これで会員数62名、休会2名となった。休会2名のうち梅木松助会員は来月より出席とのことであるが、小原康直会員は療養のため退会の申し出があり、来月



からは休会はなく会員数61名となるが、新入会会員が加わる予定

③十周年記念旅行について： 11月28日～29日に17人参加で実施したが、28日にはプロバスクラブ京都との交流会を行い、このたびの十周年記念誌に関する和やかな話題もあった。それから城之崎温泉に一泊、楽しく有意義に終了した

#### 5. 各委員会報告

##### 1) 地域奉仕委員会（永井委員長）

- ・いちよう祭りへの会員協力に感謝する
- ・生涯学習サロン概要紹介を配布した。今回は話し手を複数にしたテーマを二、三設け、話が膨らみいろいろな意見が出てくることを期待、また特別講話など外部講師も数人依頼している。なお、会員の調査票を集約したいので、できるだけ本日回答願いたい

##### 2) 研修委員会（八木委員長）

- ・野外研修には多数参加あり、交通事情もほぼ順調にいき有意義に終了することができた

##### 3) 会員委員会（野末委員長）

- ・新入会会員を来月紹介できる。なお、引き続き会員増に努力したい

##### 4) 情報委員会（橋本委員長）

- ・プロバスだより121号と「創立10周年記念」特集号を本日配布する。多くの方々の協力で出来上がったことを感謝したい
- ・プロバスサロンの後援申請を市と教育委員会に提出した。さらに、この件に関し資料を持参して、市広報に依頼を行った

##### 5) 例会委員会（徳永委員長）

- ・今回は新年会を八王子プラザホテルで行う。なお、その折に、年度後半の会費を納入願いたい

#### 6. 各クラブ報告

- ・ゴルフ同好会： 10月20日（木）第11回コンペをGMG八王子にて16名参加で楽しく開催した
- ・お茶同好会： このたび矢崎幹事から北川幹事に交代する

#### 7. 「創立10周年記念事業実行委員会」からの結果報告

1) 実行委員会報告（石井 實副委員長） 平原委員長・立川副委員長欠席のため、まとめて報告する。記念事業として演奏会・式典・パーティー・記念誌発行など、会員各位の協力の下に、すべて滞りなくしかも有意義に実施できたことに感謝したい。この報告をもって、実行委員会はその役目を終え解散することとなる。記念誌については、会員には漏れなく配布することとしているので、未受領の方は幹事にお申し出を

2) 会計報告（大高秀夫副委員長） 収入予算総額2,944,000円のところ、南RCのご協力もあり、会員それぞれの努力もいただいて決算額3,825,843円とすることができた。支出額は、演奏会費・式典費・パーティー費が増加したが、収入の範囲内で収めることができ、残金8,055円となった。残金は本会計繰り入れとする

3) 監査報告（石井 充監査） 収支ともに適切に処理しており、この決算を認めた

8. その他 石井（實）会員より、プロバスサロン運営に関し改善を検討願いたいことと、会員慶弔規定の見直しの必要について意見が述べられ、佐々木幹事より、サロンの件については四択の問題に関して議論の経過と考え方の説明があり、また、規定の件については会員委員会に課題を含め検討を依頼しているとの報告があった

9. 懇親（各委員会の打ち合わせ）

#### 10. プロバス賛歌斉唱

#### 11. 閉会挨拶（濱野副会長）

輝かしい創立十周年記念事業の大成功とともに、いろいろ活動を展開した2005年であった。これまでの会員各位のご協力に改めて感謝したい。今回は新年会、新しい年には、皆さん揃って元気にお会いすることを楽しみにしたいと思います。



## 特集 内外交流レポート

### プロバスクラブ京都親睦交流会

平成17年11月28日プロバスクラブ京都との親睦交流会を実施した。場所は京都タワーホテル例会場。出席者はプロバスクラブ京都金森正夫会長をはじめ吉田副会長、内山幹事、小山副幹事、宮監査、福井監査、中井会計、池森副会計、串田例会、槇野親睦、前田社会活動、上田広報、今福研修各委員長、東京八王子プロバスクラブは大野会長はじめ総勢17名。両会長の挨拶に始まり各自自己紹介、昼食をはさみ交流会は和やかに行われた。プロバスクラブ京都は会員数79名の大会所であり、先日5周年記念を迎え大きく発展されている。委員会の外に音楽、ゴルフ、料理教室、囲碁、俳句の同好会があり活発に活動している。懇談の中で金森会長は昭和22年京都二中時代甲子園に捕手で出場、往年の甲子園児であったことを披露され、記載された冊子を頂戴した。記念撮影(写真)をもって有意義の交流会を終えた。

(記 宮崎 浩平)



### 城之崎道中記

城崎と言うと学生時代読んだ志賀直哉の「城の崎にて」を思い出す。岩波文庫☆一つの短編集「小僧の神様」の真中辺に載っている。確か教科書にも載っていたと思う。兵庫県、日本海に面した、飛鳥時代より開けた関西屈指の名湯で、桂小五郎が潜居した宿もあり、多くの文士が訪れ名作の舞台になった温泉である。

直哉は大正2年山手線にはねられその傷の後養生のため半月ほどこの温泉の三木屋に滞在した。最初車夫が一番いい宿はどこかとたずね案内されたところ、折悪しく浸水していて泊まれず、近くの縦格子のある宿に行ったが、気がすすまず、他にいい宿はないかとたずねて、おちついたのが「三木屋」であったと後に面談をした編集者藤野力は語っている。

「三木屋」は昔のままバス・トイレが無く若者には人気が無いとのこと。「ロマンを支えるというのはしんどいことですね」十代目に当たる専務さんの談である。志賀直哉が関東にも療養に良い温泉が在りながらなぜこの地を選んだのか誰も疑問に思うことである。

さて、プロバスクラブ京都との会食懇談を終え、心のネクタイを外し、もはや宴会モードに切替わった会員15名は京都駅13:25発城崎行きの山陰本線に乗り込みます。車窓の紅葉に染まった一行は、駅から柳に縁取られた大鷺川ぞいの道を、宿に客を送るバスに揺られ、「西村屋招月庭」に到着。ゆかたに寛ぎ内湯で温まる人、7つの外湯にチャレンジする人など思い思いに旅の疲れを癒した。

いよいよ待望の蟹尽くしの夕食・宴会です。下田さんの名司会(多少酩酊気味)で宴が始まり、石井さんの音頭で乾杯。蟹と下田さんの南京玉すだれを肴に賑やかに話に花が咲き満腹満足。誰言うとも無く二次会へ。二次会は地下のカラオケバー。野口先生も自慢の喉を聴かせてくれました。芸人揃いの会員のこと、時間の経つのも忘れて羽を伸ばしました。翌日宿を出るときは天気も良く、荷物を駅前に車で送り、空身で温泉寺からロープウェイで展望台に登り、一行集合写真を・・・と言うところでポツリポツリと雨が降り始め、慌てて山上駅に駆け込むや凄い降りになりました。殆どの人が傘を荷物と一緒に駅前に送ってしまったので、傘を購入する羽目になりました。ロープウェイを降りバスで駅前へ、駅前ではお目当ての蟹を買い込み宅配する人、静かにコーヒーに旅愁を味わうなど出発12:32までの一時を過ごした。帰路は4時間半賑やかな一行とは言え長い旅路である。夕暮れに沈む黒富士に迎えられ横浜に17:10到着。ラッシュに揺られ八王子に無事着きました。

(記 八木 啓充)



温泉寺山上駅前にて



## プロバスクラブお茶同好会 (平成17年10月)

今月の例会は、立川市柏町にある、中野義光会員のご本家で、お茶会を催した。屋敷内は中野会員と、甥の7代目当主、中野献一氏の案内で見学した。この古民家は、代々篩網(ふるいきぬ)を製造してきた中野家の屋敷で、「蔵館」と称する立派な蔵が残っており、国の有形文化財に指定されている。蔵の壁は頑丈な柱と土壁で出来ており、今も残っている逸話で、青梅の七兵衛という義賊がこの蔵に盗みに入ろうと試みたが侵入できなかったそうだ。二階は、天井板を開いて梯子をかけて上るようになっている。上がってみると、見たこともないような太い梁が縦横に張り巡らせてあり圧巻である。また、母屋の各部屋には、京都の一流の職人が作った、すばらしい欄間があった。

屋敷の見学後、まず、襖に佐久間象山の書のある、母屋の座敷で「香煎手前」という、甘い煎茶を頂戴した。これは麴で作った、丸い小さな粒状の「香煎」(こうせん)をお茶の中に入れていただくもので、伊達政宗が愛飲したといわれる。

次いで、およそ20畳敷きの蔵の中で、「御所籠手前」という形式で抹茶を頂戴した。これは野点など屋外で茶会を催すときに、茶道具一式をコンパクトな籠に入れて持ち運んだもの。和菓子の変わりに、昔懐かしい金平糖を食べながら抹茶をいただくという、大変珍しいものであった。

お茶会終了後は、蔵の中にはグランドピアノが置いてあったので、お手伝いしていただいた、永町さんによるピアノ演奏を楽しんだ。実は彼女は、南ロータリーの酢屋さんの娘さんであった。懐かしい映画の主題曲やジャズのスタンダードナンバーを、アンコールに応えながら弾いていただいた。

昼食は参加者全員で、敷地内のイタリアン・レストランでとり、その後それぞれ帰路についた。本当に楽しい一日であった (記 矢崎 安弘)

## 第11回 プロバスクラブ・ゴルフコンペ

(平成17年10月20日GMG八王子ゴルフ場、4組16名(南RCより加賀谷・坂本・森田の各氏が参加))

当日は、天候にも恵まれ周囲の木々が紅葉する最高の季節で楽しくプレーする事が出来ました。しかし今回は参加者が予定より少なくやや盛り上がり欠けた面も感じられました。会員相互の交流の場でもありより多くの方の参加を期待いたします。

回数を重ねるにつれ南RCの方々が実力を発揮され上位独占が続いています。実力の差とは言え我がプロバスクラブも老骨に鞭打って頑張れば対抗できると思います。交流の場を更に広げるためにも頑張ります。また毎回南RCの方々から多くの賞品が寄贈され

大会の成功を支えていただいていることをご報告いたします。

成績(敬称略) 優勝 森田貢士(南RC) 準優勝 坂本俊雄(南RC) 3位 小林時雄 (記 小林貞男)

## 一泊囲碁大会に参加して (平成17年11月)

さて、旅行当日は快晴で参加者13人、高尾駅を20分遅れて出発して藤野駅から送迎バスで、午前11時陣場の湯『陣谷温泉』旅館に到着、先ずはひと風呂と、余裕のある人もいましたが、11時半昼食後12時にいよいよ囲碁手合い開始となりました。

この旅館は3年前から当クラブの定宿とのことですが、なんと囲碁対局室の豪華なこと、緋毛氈の広い室にゆったりとしたひじ掛け椅子の対局席が16席セットされ、素晴らしい佇まいでした。

対局は13人総当たりで、各自腕前によって持点があり、上位者と下位者との間にはハンディ(置き碁)があって、勝ち負けによって点数が上下し、最終的に勝ち点の多い者から優勝、準優勝その他が決まるルールです。1局約1時間平均で一人が12回対局するから、延べ12時間の長丁場で初日は正午からなんと午前1時まで9回戦をこなし、棋士の面々はさすがに疲れて、寝床に入ったらバタングウでした。

ところで、旅館を紹介すると、風呂は大きなひのき作りの湯槽でとても感触がよく、料理もしし鍋、虹鱈、馬刺しなどあり結構な食事でした。翌朝午前7時起床し窓を開けると、この日も良く晴れて陣馬山麓の紅葉が、ひときわ美しく目に映りました。

着替えをして、7時半に別室で朝食を取った後、残りの戦いにどう挑むか、それぞれが秘策を胸に対局室に向かいました。やがて8時対局開始、またまた丁々発止の熱戦があちこちで展開され、残り3試合でしたので、正午に各々12局の全試合が終了いたしました。

さあ成績はどうでしょうか。筆頭幹事の下山さんから成績発表と賞品の授与がとり行われ、思惑通りいった人、こんな筈じゃあなかった人など悲喜こもごもあるなかで、参加者一同和気あいあいのうちに平成17年度囲碁旅行会が幕を閉じました。あっという間に過ぎましたが、実りのある楽しい2日間でした。来年も是非参加して優勝とはいわないまでも、上位入賞を狙いたいものです。

上位入賞者(敬称略) 優勝 下山邦夫、準優勝 関戸一郎、3位 吉田信夫 (記 東山 栄)

### 第123回例会

日 時：平成18年1月12日（木）17時～18時

場 所：八王子プラザホテル

出席者：53名 出席率86%（会員総数63名、うち休会1名）

#### 1. 徳永例会委員長の司会で定時開会

#### 2. 大野会長挨拶

あけましておめでとうございます。皆様ご健勝にて新年を迎えられましたこととお慶び申し上げます。

昨年は当クラブの設立10周年にあたり、盛大且成功裏に実施することが出来まして、皆様のお骨折りの賜と厚く御礼申し上げます。

今年は11年目のスタートとも言える年です。干支の戌はかつては安産のシンボルでした。ところが戌年生まれの人口比率は最少という事で、この辺りにも少子化の所以が感じられます。私達のクラブでは野口先生が戌年の最長者で他に昭和9年生まれの方も5人いらっしゃいます。会員の10%が平均余命以上です。

2月から生涯学習サロンが始まります。趣向を凝らしていただいて、先日は朝日新聞に報道され問い合わせも多数あったと聞き及んでいます。戌年は安産と言うことなので、今年実施する企画も成功すると思っています。

今日から新しく2人の素晴らしい会員をお迎え致しました。「こいつは春から縁起がええわい」と思います。

#### 3. 新入会員の紹介

杉山 友一 様 （会員No. 92） 所属 研修委員会 推薦者 鶴田 会員

岡本 宝蔵 様 （会員No. 93） 所属 例会委員会 推薦者 佐々木会員

#### 鶴田会員推薦の言葉

杉山友一さんは、南ロータリークラブの10周年記念事業として、プロバスクラブを設立する時の実行委員長を務められ我がクラブにとって大変かわりの深い方です。現役時代の主な業務は、空調エンジニアリング40年、山栄興産グループ社長・会長、オリコグループ金融・不動産会社会長顧問。住まいは元本郷町、昭和10年生れ。

地域に根づいた活動も熱心で、現在八王子防犯協会会長・財団法人東京防犯協会連合会常任理事、社会福祉法人同胞援護婦人連盟、こどものうち八栄寮の評議員として、奉仕活動に傾注され、犯罪抑止の研究など、市民が安心して暮らせるまちづくりに努力を重ねられ、八王子市に大変貢献している方であります。また地域社会にプロバスクラブの認知度の向上に熱意を抱かれ、今年度のプロバスクラブのテーマである夕やけのまちの明日を照らして戴けるものと確信をしております。

#### 杉山友一新会員のご挨拶

平成18年の新春の初例会に皆様方のお仲間に入れていただいて有り難うございました。10年前にロータリークラブの立場からプロバスの設立にかかわった時から、何時かはプロバスと思っておりました。かつてトヨタ自動車のヒットコマーシャルに「何時かはクラウン」と言うのがありましたが、私は「何時かはプロバス」と置き換えて今日まで参りました。そして会員No.100番を待っていましたが昨年の秋70歳になり、プロバスクラブも10周年と言う大きな節目を越えたところなので、お友達の鶴田さんに推薦をしていただきました。

プロバスとロータリーの二重国籍となっておりますが、本籍をプロバスクラブに転出した心意気でありますので宜しく願いいたします。私は土地っ子ですのでプロバスの広報面で是非お役に立ちたいと思っています。個人的には、体の健康・心の健康・加えて申し上げるとお金の健康を含めてこれから先の人生幅を広げて質を高めていきたいと思っています。どうぞ末永く宜しく願いいたします。

### 佐々木幹事推薦の言葉

岡本宝蔵さんは、北海道赤平市出身、昭和17年10月生まれの63歳です。現役時代のお仕事は、テレビ受信関連機器の製造・販売、取付工事の設計・施工・保守等で、DXアンテナ(株)の営業統括所長、人事総務課長、業務部長等を歴任されました。

典型的なマルチ人間で、ご専門の電気工事関係資格のほか、消防・ビル管理、社会福祉・レクリエーション・健康関係、武道・社交ダンス等 多方面にわたる資格を取得されており、その数は実に40種を超えております。

明るく若々しく活動的で、これまでボーイスカウトの指導者や八王子いちよう祭り、八王子レクリエーション協会等、多くの社会奉仕団体のスタッフとして目覚ましい実績を重ねてこられました。プロバスクラブに入会後も、これらの経験を生かして多方面にわたるご活躍が期待されるところです。

### 岡本宝蔵新会員のご挨拶

今回この新年に当たりまして新しい会員として皆様のお仲間に入れていただき本当に有り難うございます。大変嬉しく思っております。佐々木さんから色々お話をいただきましたが、私にとって 宝・蔵は家族そして多くの良き友達です。今までお世話いただいた色々の事を少しでも何処かでお返しして世の中のお役に立てればいいなあーと常々感じています。大野会長さんのお姿を見て人生の歩み方を教えていただく思いです。皆様の足手まといにならない様に頑張りますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

### 4. 会員バッジの贈呈

大野会長より二人の新入会員に東京八王子プロバスクラブのバッジを贈呈

### 5. 幹事報告

#### 1) 佐々木幹事

- ・会員の動向： 休会されていた梅木松助会員が本日より復帰  
小原康直会員 退会  
小柳和美会員 休会（1月～12月）  
本日現在 会員63名 休会1名 実働 62名
- ・いちよう塾の公開講座： 講師 平原俊彦会員、テーマ「音楽は時代と共に」、日時：1月21日（土）午後1時20分～2時50分、会場：学園都市センター（八王子スクエアビル内）、定員：216名（先着順）、費用：無料
- ・東京八王子南ロータリークラブ20周年 4月26日（水）記念式典、プロバスクラブ 協力

#### 2) 下田副幹事

- ・八王子健康づくり推進協議会より、健康づくり活動発表会への出席要請、希望者は本日中午に下田まで

### 6. 委員会報告

#### 1) 地域奉仕委員会（永井委員長）

- ・学習サロン希望テーマ調査票の未提出の方は提出
- ・2月の月例会でサロンの参加費2,000円を徴収
- ・希望者にサロンの参加を呼びかけてほしい

#### 2) 研修委員会（八木委員長）

- ・良いアイデアがあればお申し出下さい

#### 3) 会員委員会（野末委員長）

- ・特になし

#### 4) 情報委員会（橋本委員長）

- ・プロバスだより122号は特集としてプロバスクラブ京都との交流、関西旅行、茶、ゴルフ、囲碁同好会活動など内外交流を取り上げた。ご一読を
- ・生涯学習サロンに対する後援名義使用の申請は12月に市と市教育委員会より承認された

#### 5) 例会委員会（徳永委員長）

今日も9名の欠席者のうち半分の方が病気、怪我等のため欠席を余儀なくされたご様子なので、時節柄十



分お体にご留意ください。お土産は八王子のシンボル桑の木・桑の葉で作ったお蕎麦、ビンゴの景品には桑の葉の入ったどら焼きを用意しました。生活習慣病に良いのでご賞味下さい

#### 7. 全日本プロバスクラブ協議会 立川副会長の報告

明けましておめでとうございます。 昨年の十周年の時には皆様のご協力をいただいて成功する事ができました。本当に有り難うございました。成果がじわじわと漣のように出てお褒めの言葉をうかがい嬉しく、良かったと思っております。

私が担当しております関東圏は13クラブですが、一昨年から昨年にかけて7クラブを回って参りました。どのクラブでも地域で認知されている所が活発に非常に良く行っている様に思われます。

12月に鶴田会員と群馬県の太田西プロバスクラブに伺いましたが、平均年齢77歳前後のご高齢の方々を中心とした素晴らしいクラブでした。朝7時から奉仕をしたり元気に活動しておられます。吃驚したのは93歳の女子会員の方で、とても70歳代としか思えない若さで活躍されていました。矢張り健康第一だとつくづく思いました。6月4日には全日本プロバスクラブ協議会の総会がある予定です。

#### 8. プロバスソング斉唱

(今回演奏のCDは陸上自衛隊音楽隊のご好意でプロバスクラブのために作製して下さいました)

#### 9. 閉会の辞 浜野副会長

1月9日付けの朝日新聞にプロバスクラブの案内・紹介がありましたが上手に我々の言いたい事が簡潔に纏めて記事になっていました。これは、地域奉仕委員長の永井さんのお力によるものと思います。有り難うございました。

本日は2名の有力な新会員をお迎えして頼もしい限りです。

#### 新年宴会 18時～20時

- 司 会 徳永例会委員長の司会で18時開会 (ビンゴゲーム 下田副幹事司会)  
会長挨拶 今日皇居で歌会始が行われますが、今年の勅題は「笑み」です。私達の会も、今年は健康で笑みの絶えない楽しい運営をさせていただくことをお願いいたします。
- 乾 杯  
会 食 懇 談 ゲーム (ビンゴゲーム・カラオケ)  
最後に全員で「見上げてごらん夜の星を」を合唱して終了
- 閉会挨拶 浜野副会長

### 追悼

#### さよなら 秋山さん

立川富美代

永遠のさよなら・・・なんて悲しい響きでしょうね。今年は「さよなら」を申しあげた仲間が2人も。それも2人とも私の紹介の人たち。おまけに同じ病気！同じ年代！ 運命の残酷さを痛感しております。

秋山さんとの出会い。 変な係わり合いで、運動オンチの私が「八王子市体育協会」の副会長に就任いたしました4年前、秋山さんも同時に副会長になられました。バリバリの合気道の達人でした。それなのにステキな声、合唱団を持っている私にとりましては最高のターゲットでした。うちの合唱団にはいない？いい声なのに・・・それから後にNHKのすごいアナウンサーで、しかも司会の帯番組をしておられた、その後アナウンス室長と言うエライ人と知りました。

体育協会がNPOを取得するために大変貢献をされました。喧喧がくがくの議論をする度に、NHKらしいと私が申しますと、「なんだなんだ僕はやわらかいよ」と言われるのが口癖でした。プロバスクラブを誘ったすぐに「いいよ」と入会していただきましたが、講演などでとてもお忙しいようでした。私は来るべき「創立10周年」の彼の活躍をひそかに期待しておりましたのに。

「会長、来月から当分休会です」「なぜ、さぼるの？」「いよいよ包囲網が自分に来ました」

「なにの？」「肺がんで、明日入院、すぐに手術です。父も兄もガンで死にました。いよいよ僕の番です」

「・・・・」 私が会長の終わりの頃の2人の会話です。

「立川さん、脊髄に転移しました。もし シャバに帰れることがあっても、車椅子です。」

「車椅子でも立派に社会活動している人たくさんいるよ。待ってるからね」「可能性は少ないよ。もう少し休会にしておいてね。」 これが今年の7月。最後の会話です。

「とても淋しい。でも楽になって天国でまた皆の司会をしてね。秋山さん」

## 投稿

### コップの中の小さな星

長谷川貴訓

プロバスの新年会で、『見上げてごらん夜の星に』を皆様と合唱しました。

～♪♪ 小さな星の 小さな光が ささやかな幸せを  
うたってる ♪♪～

子供の頃、初めて鉱石ラジオを組立て、イヤホンから聞こえてきたラジオの音は今でも鮮明に覚えている。その時の机や、窓の外の景色までが記憶に残っているのだから大きな感動だったに違いない。

定年後、再びあの震えるような感動がないものかといろいろ試してみたがなかなか訪れてはくれなかった。ある時、本（『知の創造』～ネイチャーで見る科学の世界～：徳間書房）を見ていたら、エレクトロニクスのトピック“そして光ありき！”の小文に魅せられた。内容は音ルミネッセンス、超音波による液体の発光現象の紹介である。この発光現象があることは古くから知られていたが、ここに紹介されている方法は従来の多数の泡（難しく言うと、キャビテーション）から出る微光と異なり、一つの気泡を超音波で液中に定在波で捕獲させてそこにエネルギーを集中させると、その気泡が発光するという不思議な単気泡発光現象を述べたものである。

『これは面白い』しかも、大掛かりな装置も無く出来そうなので、早速手持ちの機器で実験をしてみた。インターネットで調べると、幾つかの実験例が載っていたのでそれらも参考にした。

ガラス容器に水をいれ、超音波発振装置を上部から挿入し、容器の中央部分に気泡が停止するように出力・周波数を調整していくのだが、なかなか発光は見られなかった。幾日も実験を続け、諦めかけていた時、一瞬コップの中でかすかに光る点が見えた。

空の星で表現すると5等星程度の明るさの星がコップの中で浮いているのである。真っ暗闇の中で青白く光る点は正に星であった。何年ぶりかの感動である。この小さな泡の内部で起きている物理現象は現在に至って完全には解明されていないようであるが、泡が超音波によって圧縮され、中の気体が数十万度の熱によりプラズマ化し光を発することは間違いないようである。泡のなかの気体を重水素に換え熱核融合現象が起きるかもしれないと研究している米国のグループもあるように、この小さな泡の内部では地上では起きえない不思議な現象が現れている。

眼が暗闇に慣れてくると、従来の多気泡の液体発光もなかなか面白い。スポットで空気を勢い良く水の中に入れてやると銀河のように沢山の気泡が発光する。ガラスコップの中は恰も小宇宙のようである。しかも、恒星がそうであるように自ら発光をしているのである。

趣味の実験ではこの程度で終わってしまっているが、何時か、野球ボール程のガラス球の中に本物のような宇宙を造り、拡大レンズで覗く不思議な科学玩具が実現できないか夢見ている。

小さな星に何時でも願いがこめられるように。

## 【生涯学習サロンの募集記事】

朝日新聞多摩版（1月9日）に学習サロンの募集記事が掲載されました。大変要領よく書かれています。この記事により問い合わせや応募が多数ありました。

## 学びながら仲間づくりを

第一線を退いた専門職の会社員や企業幹部経験者らでつくる「東京八王子プロバスクラブ」が生涯学習サロンの開講を予定しており、10日から参加者を募集する。同クラブは95年10月に設立した。「プロバス」とは、プロフェッションと、あすから募集

## 王子の生涯学習サロン開講へ

する方式。八王子市が取り組む学園都市づくりをテーマにしたパネルディスカッションなどもあ

開講式は2月23日。サロンは3月9、23日、4月13、27日のいずれも午後2時から計4回。これとは別に5月11日には山梨県内の博物館などを見学する野外サロンも実施する。

今回の募集は先着75人。会場は同市八日町の「八王子エルシー」で、参加費は3千円のほか、各回ごとに茶菓子代千円、野外サロンは5千円が必要。申し込みは平日に同クラブ事務局（0426・26・4343）へ。



### 第124回例会

日 時：平成18年2月9日（木）12：30～14：30

場 所：八王子エルシィ

出席者：53名 出席率86%（会員総数63名、うち休会1名）

#### 1. 徳永例会委員長の司会で定時開会

冒頭 例年の通り、立川会員よりバレンタインデーにちなみ「愛をこめた」チョコレートのプレゼントがあった旨の報告

今月23日(木)から生涯学習サロンが始まり、開講式は13：30 から、また3月9日(木)は、例会が12：00～13：20、生涯学習サロンは14:00 から始める予定であるので、時間を間違えぬよう注意

#### 2. 大野会長挨拶

本日は、「早春賦」の一節を思い起こさせるような日です。皆さん寒い中ご出席戴きありがとうございます。今日から休会中だった梅木会員が出席されます。梅木会員から「体調は本調子ではないが、本日より出席することになったのでよろしく」とのご挨拶がありました。

本月23日から生涯学習サロンが始まり、今回で10回目を迎えることができた。初めは参加者が少なく、どうなることかと心配していましたが皆様方のご努力で年々参加者が増加し、また本年は「朝日新聞」に開講案内が掲載（プロバスだより第123号に記事再録）された事もあり、新しい方々の参加が増え、盛大に実施できる事となりました。これは昨年お願いしたのですが、生涯学習サロンにお出で戴いた一般参加の方々の質疑等を優先して戴けますよう検討をしてください。

#### 3. 来賓挨拶（東京八王子南ロータリークラブ 加賀谷バスト会長）

お久しぶりでございます。すっかり御無沙汰を致しまして申し訳ありません。昨年の10月から地区の役員を命ぜられ、また今年に入ってから種々の委員会を発足させ走り回っております。なかなか出席できる機会が少ないかも知れませんが、可能な限り出席したいと思っておりますので宜しくお願い致します。

#### 4. 幹事報告（佐々木幹事）

- ・サークル支援金の支払いがなされていないので、活動状況報告等を添えて、支払いを申し出て欲しい
- ・会員名簿を整理したい。新しい会員が増加したことと、来たる3月5日から市外電話番号が0426から042に変更になる。新しい名簿には会員番号は残すが、あいうえお順にして、備考欄の整備をしたい
- ・現在の会員の年齢構成は、60歳代～21名、70歳代～42名で平均年齢は71.3歳（70歳以上の構成70～74歳27名、75歳以上が15名）

#### 5. 委員会報告

##### 1) 地域奉仕委員会（永井委員長）

- ・生涯学習サロンが23日より始まる。本日皆様に受講料の領収書としてお渡しした受講証に記載の受講選択項目に○印をつけさせていただいた。第一希望と異なる方が居られるが、一般参加者の選択状況、部屋の大きさ等から変更させていただいたのでご了承願いたい。役割分担で 司会者、会場係は第1希望優先とした
- ・野外サロン 当初サントリーワイナリーを予定していたが、本年から10名以上の団体は受け付けられないということで、メルシャンに変更した
- ・会員委員会の方には当日の会費の徴収をお願いしたい。今後他の委員会の方にも、いろいろとお願いすることがあるのでよろしく
- ・サロンが始まると、受付付近が混雑する。会員の方は速やかに会場に入るようお願いをする

Q：「朝日新聞」に掲載されたため増加したと思われる参加者の数は？

A：本年度一般参加者の数は73名で新規参加者は、25名程度、そのうち「朝日新聞」によるものと思われる人数は、20名程度

2) 研修委員会 (鶴田副委員長)

・特になし

3) 会員委員会 (野末委員長)

新会員で、梅木会員と泥懇の方を検討している

4) 情報委員会 (橋本委員長)

・プロバスだより123号には立川さんの追悼文「さよなら秋山さん」、長谷川さんの寄稿「コップの中の小さな星」、朝日新聞のサロン開講紹介の記事などを掲載した。投稿文のストックが少なくなったので、皆様の投稿をお願いする

5) 例会委員会 (徳永委員長)

例会の出席状況、生涯学習サロンに係る開催時間等の説明があった

6. 各同好会、その他からの報告・連絡

- ・ゴルフ同好会 本年第一回のコンペを5月18日(木)に開催を予定している。八王子南ロータリークラブと合同で大会を実施する方向で検討をしている。次回例会で案内をしたい
- ・第25回繊維博物館サークル作品展の案内(浜野副会長) 別紙パンフレットの通りサークル作品展が東京都小金井市で開催されるので、お知らせする。プロバス会員は無料となるので是非お立ち寄り頂きたい
- ・茶道同好会 本日例会終了後1階で、お茶の会の打ち合わせをしたいので、お集まりを
- ・IT担当武田会員 会員の方でアドレス等を新しく取得した方、また変更をされた方は連絡をしてほしい。また、新しい情報を提供してほしい。

## 7. 卓話 『私の小さなセレンディピティー』

### セレンディピティー

長谷川 貴訓会員

セレンディピティーという言葉は、1754年英国の作家が、アラビヤの古いお伽話～王子達が意図せずに、いろいろな物を偶然に見つけていく物語～「セレンディップの三人の王子」からとり入れたと云われています。その後、しばらくは辞書にも載っていなかった言葉でしたが、20世紀になってから、思いがけない発見・発明のドラマに使われ出しました。この偶然の女神が与えた、発見・発明物語は数多くあり何時読んでも心をうきうきさせてくれます。今日の卓話は、私自身が会社で経験した、印象深いセレンディピティーについて話をします。

### 孔版印刷は簡単な印刷だが孔画像を作る製版が難しい

印刷には版の違いにより 凸版・凹版・平版・孔版があります。孔版はその名の通り、インクを通過させないシート上に文字を孔で作り(これを製版といいます)、このシートに紙を重ねて裏面からインクを供給すると文字の孔部分からのみインクが通過して紙に転移すると云う簡単な印刷法です。印刷方式は簡単ですが、孔の版を作ることが容易ではなく、実用になったのは意外と遅く1876年にエジソンが電気振動ペンを使って蠟紙に孔の画像を作る製版方式を開発してミメオグラフとして世に出したのが始まりとされています。

### 日本においてガリ版の開発

堀井新治郎が1894年エジソンの電気ペンの代わりにヤスリ板の上で蠟紙を鉄筆で書くことで簡単に孔画像を作る方式を開発し、謄写版として売り出し学校や官庁で盛んに使われました。ガリ版は、手作業により孔をあけるもので、筆耕職人という専門職があったほど、大変な作業でした。もし、複写機のように簡単に孔の原紙が出来たら、孔版印刷はとても便利になるのに、と誰もが夢見ていたものでした。

### 米国3M社感熱方式開発、感熱方式の問題点

この夢をかなえたのが、1955年(昭和30年)米国の3M(スリーエム)社が、強い赤外線を原稿に照射し、原稿の黒い部分(即ち、文字部分)と白い部分(即ち紙の部分)との光の吸収による温度差を利用して、熱でフィルムに孔をあける感熱孔版方法を提案しました。しかし、米国では、感熱複写孔版方式は余り普及せず、OHP用のTP作成として発展していきました。日本では、理想科学工業が上記の感熱孔版原紙を製造し、3M社に大量に輸出しておりました。

今まで手作業で孔を開けていたのが、複写機のように孔の像が簡単に出来るので画期的でしたが、文



字部分に発生する熱画像の解像度が悪く、細かな字が潰れると云った欠点がありました。さらに、赤外線照射として、1400wという大電力を必要とする赤外線ランプを、プリンター程の箱に中に入れ使用するため、大量の熱が発生し安全性に欠けるなどの幾つかの装置上の問題点もありました。

入社当時私が理想科学に入社したのはその様な時代の昭和44年でした。入社した途端に、3M社への感熱原紙の輸出がストップし、会社の経営が急激に悪化し多くの人が辞めていきました。

何かの縁でこの会社に入ったのだから、何とか新製品を開発して、この危機を救う手助けをしようと思いました。『起死回生のヒット商品を開発する！』の意気込みでした。当時、私は、静電印刷法を使って年賀葉書を多色印刷する装置を開発していました。感熱方式でフィルムに孔をあけ、インクの代わりに色トナーを使って一度に多色印刷する方式でした。多色で年賀が出来る点で画期的ではありましたが、やはり製版機が問題でした。いくら葉書サイズと言っても、強力な赤外線ランプを使わねばならず、安全性とコストの面でとても家庭用年賀葉書印刷セットとして売り込めるものではありませんでした。

#### **問題は光源にあり、白い光を求めて**

熱をあまり出さずに、解像性に優れた小型の製版機が出来ないものかと日夜考え、熱の原因である赤外線ランプをもう一度根本から検討することにしました。あるとき、熱学の本を読んでいますと、その中に、ハットする重要なヒントがそこに記述されておりました。夏に白い服を着ると太陽光を反射して、黒い服より涼しいが、焚き火の前では同じであると、そこで閃きました。熱を出す赤い赤外線より、逆に白い光のほうが感熱方式には向いているのではないかと疑問を持ち始めました。早速、実験用に各種のランプを発注してその到着を千秋の思いで待っていたある日、会社で機械部品の写真撮影をしていた人がストロボを持っているのに気が付きました。そこで、ストロボをちょっと借りて、こんな20ワットの光源ではとてもだめだと思ひながら、手に当てて見ました。かすかに熱は感じられましたが今までの赤外線ランプとは比較にならないほど弱いものでした。

#### **幸運の女神登場**

そこで、そのまま返そうかと思いましたが、ふと手元にあった黒い紙を手で載せ再びストロボの光を当てて見ました。すると驚くことに想像以上に熱いのです。この段階で、心臓がドキドキしました。『ひょっとするとこの小さなストロボで文字が焼きつくかもしれないと、』 近くにあった新聞の上に透明なフィルムを重ね上から圧力をかけながら、祈る気持ちでストロボを照射してみました。フィルムを剥がしてみると、そこには細かな新聞の活字と同じ文字の孔があいていました。従来の赤外線ランプと違い瞬間に照射するので、熱画像も鮮明で、且つ、余計な熱の発生も殆どない理想的な製版原理が出来たのです。

#### **新製品発表 危機突破**

その後の開発は、苦労はありましたが毎日が楽しい日々でした。 マッチ箱サイズの面積から葉書サイズそしてA4サイズと大きくし、小さな実験から、1年足らずで新製品を発表しました。この商品は、全国に売れ、危機を乗り越える原動力の一つになりました。ストロボより更に簡便なものとして、放電管の代わりに、閃光電球を近所の写真屋から買い求め、はがきサイズの製版機を直ぐに完成させたこと言うまでもありません。そして、この簡単安価な製版装置は、後のプリントゴッコの『ピカッと光る』製版部分に採用されました。

#### **私のセレンディピティー**

簡単な装置で葉書の製版機が出来ないものかと、日頃考え悩んでいると天のどこからかヒラメキが訪れてくるとの『発想の詩』、その通りのことが起きて感無量でした。この女神にめぐり会い、そして、見逃さなかったのは本当に幸運でした。私にとっては、小さくとも、大変想い出深いセレンディピティーでした。

8. 各委員会毎の打ち合わせ
9. プロバスソング斉唱
10. 閉会の辞 浜野副会長

第10回の生涯学習サロンが、いよいよ2月23日から始まります。地域を中心とした話題にして、5月迄続きます。サロンが成功裡に終了できるよう、皆で努力して行きたいと思っております。皆様のご協力をお願い致します。

## 野外研修 (H17,11 10) 車中で好評だった卓話について内容を再録・紹介

### I とげぬき地蔵尊御縁起抄

1. 山号、寺号、宗旨：萬頂山、高岩寺、曹同宗
2. 開創年代：慶長元年（1596年）約400年前頃
3. 開山者：埼玉県熊谷市大字下奈良 萬頂山、集福寺 5世扶嶽太助（フガクダイジョ）大和尚
4. 開創地：神田明神下（現在の千代田区外神田 2丁目）  
約60年後、下谷屏風坂下（現在の台東区上野 7丁目）に移転する。この時代にとげぬき地蔵の靈驗譚が生まれた
5. 現在地：豊島区巢鴨、明治24年5月28日区画整理のため当地に移転、同年9月24日入仏式。昭和初期に中山道の新道（国道17号）建設により境内が分割された。現在の本堂の完成は昭和32年11月30日、庫裡は昭和59年12月18日完成
6. 御本尊：延命地蔵菩薩（とげぬき地蔵）
7. 縁 日：毎月 4日、14日、24日、大祭祈祷：正月、5月、9月の各24日、地蔵盆：7月24日
8. 現在の門前町の情景  
おばあちゃん原宿と言われてずいぶん久しい、実際、巢鴨駅からとげぬき地蔵へ向かうのは、圧倒的に年配の女性達。おばあちゃん好みの商店街があり、婦人服、団子屋、塩大福を売る甘味処、薬局、漬物屋、健康グッズの店など、ほかの参道では見られない店が並んでいる。この地蔵通りは旧中山道である。通りの入り口に江戸六地蔵の一つ真性寺がある。ここの地蔵菩薩像は、笠を被っている青銅製の丈六座像、江戸名所図絵にも描かれている。そのため江戸時代、巢鴨の地蔵といえば真性寺の地蔵を指した。
9. とげぬき地蔵と言われる所以（靈驗譚）  
田付氏と言う人の妻が、産後の肥立ちが悪く死を覚悟してしまった。田付氏はなげき悲しみ、妻が信仰している地蔵尊におすがりした。ある日のこと不思議な夢を見た。一人の僧が現れ「私の像（カタチ）を彫刻して川に浮かべなさい。急には出来ないなら、印像（インゾウ）を与えよう」と言われ夢からさめた。ふと枕元を見ると地蔵菩薩の御影（オスガタ）があったので、お告げの通り 1万体の御影を作り、両国橋から川に浮かべた。その翌朝のこと、妻が呼ぶので行って見ると「今、死魔が現れましたが、お坊さんが、突き出していました」と告げた。田付氏は靈驗に驚いたが、その後、妻の病は快方にむかい、半年後には床を離れ、それ以来、婦人は無病になったという。  
この話しをある人の家でしていると、その中に毛利家に入出入りする西順と言う僧がいて、その御影を2枚もらい受けた。ある日、毛利家の女中が誤って針を飲み込んでしまい、苦しんでいるところに西順が来て、持っていた1枚の尊影（ソンエイ）を飲ませると、女は、腹の中の物を吐き出し、針が御影を貫いているのが出て来たという。これは、田付又四郎が、みずから記して、献納された靈驗記の1部である。これまでの話はとげぬき地蔵尊御縁起抄に出ている話で、大道芸の本には少し違った由来が書いてあったが、紙面の関係で省略する。
10. 高岩寺にまつてあるその他のもの  
境内左手に、子育て地蔵、小僧稲荷、水洗い観音が並んでいる。中でも水洗い観音は人気が高いので、いつも長い行列が出来ている。観音像に水を掛けながら白布で、病んでいるところを洗い流してもらうよう祈願すると良くなる、と伝えられている。

### II 難解熟語

この卓話は、何と読むのか解りにくい2文字から6文字の熟語を、70問出題して皆様に読んでもらい、正しい読み方とその意味を披露した。思ったより正解が多かったので、あらためてプロバスの会員は知的集団である事を感じた卓話であった。



### 第125回例会

日 時：平成18年3月9日（木）12:00～13:20

場 所：八王子エルシィ

出席者：55名 88%（会員総数64名、うち休会1名）

#### 1. 徳永例会委員長の司会で定時開会

#### 2. 大野会長挨拶

今日は3月9日、サンキュウの日です。私たちのために働いてくださるたくさんの方がおられますが、その方々に感謝の気持ちをもって行動したいと思います。今日からいよいよサロンが始まります。また杉山会員からお知らせがあると思うが、八王子南ロータリークラブの20周年記念行事に賛同ご出席いただきたい。

#### 3. 新入会員石田文彦氏の紹介と会員バッジの贈呈（会員番号94番）

（1）紹介者 米林伸恭氏 石田文彦さんは福井市の出身で、京都大学卒業後、国分寺市の日立中央研究所に約20年研究生活を送られ、ロンドン大学で6年間研究員をされたが、その後上越教育大学に奉職、昨年定年退官された。工学博士であり、研究テーマは科学技術史である。八王子には昭和48年に住まわれることになったが、単身赴任のこともあり、地もとの人たちとお付き合いする機会が少なかったため、今後親しくお付き合いしたいと希望されている。

（2）新会員 石田文彦氏 私は日立中央研究所でコンピュータ関係の研究、特に超伝導材料の研究に従事、リニヤモーターカーの実用化に取り組んできた。大学では技術史を専攻し、科学技術を通じた日本の近代化、とくに新潟県における油田開発の歴史を研究した。最近では科学技術史の研究から中国との交流が深まり、研修生を受け入れている。今後八王子の織物産業の歴史を研究したい。

趣味・スポーツとしては、テニス（滝山テニスクラブ）、畑の耕作（最近耕地を300坪に拡大した）、油絵などである。八王子市との関連は、日立時代は大和田町の日立独身寮に住み、その後みつ台に自宅を購入した。しかし単身赴任が長く続き、地元とのふれあいが少なかった。テニスクラブを通じて、プロバス会員の梅木さん、米林さん、佐々木さんとお知り合いになり、本会に入会を希望した。地元の方と親しくなりたいと思っている。

（3）大野会長より石田会員に対し会員バッジが贈呈された。

#### 4. 幹事報告（佐々木幹事）

- ・今回石田文彦会員の加入により、会員数は64名（うち休会1名）となった。
- ・会員名簿を本日配布の約束をしたが、都合により来月配布する。
- ・会員相互間の慶弔規程につき、会員から質問があり、検討した結果、慶弔規程を一部整備し、改めてプロバスだよりに掲載することとした（下記参照）。

慶弔規定 平成9年5月8日 第19回例会で報告

一部改正(アンダーラインの部分を加える)

平成18年3月9日 第125回例会で報告

1. 会員死亡の場合香典10,000円又は供花等(時価)を行う。
2. 慶事および前号以外の場合については、その都度理事会において審議決定する。
3. 上記いずれの場合についてもお返しは不要とする。

#### 5. 下田副幹事 次回八王子市民健康の日、当プロバスクラブは、会場入り口3箇所で午前・午後各受付係を担当することとなった。各委員会において人員2名ずつを出していただきたい。

#### 6. 杉山友一会員 私は八王子南ロータリーとプロバスの二重国籍となっているが、南ロータリーとして、来る4月26日の南ロータリー20周年記念行事をお知らせしたい。テーマは「防犯・防災に強い安全・安心な町」

で、子供を犯罪から守ることを強調し、この分野の第一人者小宮教授の講演も予定している。ついては、皆様はできれば式典の段階からご出席お願いしたい。会費は、両クラブの関係から、とくに3000円と定めさせていただいた。

## 7. 委員会報告

### 1) 地域奉仕委員会（永井委員長）

- ・ 今期プロバスサロン第3週（4月13日）分にテーマの変更があった。話し手の健康状態により、B「革命家孫文の生涯を視る」に代えて、話し手宮崎浩平さんによる「井戸端会議ー我が街、八王子のまつりー」を加える。これに伴い、第3週サロンの参加者希望テーマの再調査をする必要があるので、本日中に希望テーマを回答されたい。
- ・ 今期プロバスサロンの野外サロンの一部につき変更があった。訪問先が大型バス交通規制のため、サントリーワイナリーがだめで、メルシャン勝沼ワイナリーに変更された。メルシャンは日本で最も古いワイナリーで、ワイン資料館が併設されている。なお訪問先の山梨県立博物館は、昨年10月に開館されたばかりである。野外サロン参加はできれば本日中に申し込まれたい。

### 2) 研修委員会（八木委員長）

6月の総会のあとで、ピアノ伴奏つきでなつかしの歌を歌い、それにまつわる思い出を語る会を現在企画中である。来月の例会でお知らせする。

### 3) 情報委員会（橋本委員長）

プロバスだより124号を発行した。なお4月、5月分会報について原稿が足りない状態なので、ふるって応募されたい。

### 4) 例会委員会（徳永委員長）

- ・ 次回プロバスサロン第2日は3月23日（木）午後2時より。当日会費1000円を持参されたい。
- ・ 次回例会は4月13日（木）で、12時より例会があり、午後2時よりサロン第3日がある。当日会費1000円と、野外サロン参加費3000円を持参されたい。

### 5) 会員委員会（野末委員長）

石田文彦氏の入会につき審査した。また慶弔規程につき検討した。

## 8. 各同好会

- ・ 囲碁クラブ 5月5日（祝）午前9時より台町市民センターで大会を行う。
- ・ ゴルフクラブ 5月18日武蔵野カントリークラブで南ロータリークラブと合同でコンペを行う。団体戦も考えている。

## 9. プロバスソング斉唱

## 10. 閉会の辞 浜野副会長

3月は別れの月といわれるが、また希望に向かって進む月でもある。希望に向かって進みましょう。昨日は暖かかったのに今日はまた寒くなった。健康に気をつけていただきたい。

## 投稿

## 無 題

澤渡 進

初めてレストランでハンバーグを食べたのは高校生の時であった。ソフトというアイスクリームを家族といっしょに食べたのもその頃であった。驚き・戸惑い・美味さ、その時受けた衝撃・感動は今でも忘れない。

今そんな晩生の子供はいないだろう。其処ら中にあるファミレス・回転寿司・焼肉屋、親も子もストレスの溜まる世の中、手軽な外食でお互いを癒し合う場も必要だろう。我が家で皆が向き合って顔を見ながら食事をするというかつての食文化を、今の日本に望むのは無理な注文なのであろう。



世の中総グルメ時代、夕刻テレビをつければ必ずどこかの局でやっている。楽しいものもあるが、日本の食文化を破壊するのではないかと思われるのも散見される。中でも悲しいと思うのは、バイキング形式の食事を取り上げた番組である。”取り放題・食べ放題で何ぼ”に人気があるようだが、一つ一つの材料の味、食事のありがたさ・大切さを無視したこの思考は、特に家族が対象となると遣り切れなさが一層増幅する。無分別な子供を巻き込むのだけはやめて欲しいと思うのである。高くとも安くとも、やはり食事はよく味わって残さずという食文化を、将来のある子供たちには残しておいて欲しいと思うのである。昔食べた”紅花”のハンバーグの味が、50年後の今になっても忘れないというのも”明治は遠くなりにはけり”とほぼ同義語になってしまったような気がしないでもない。とはいえ親といっしょの食事の豊かさや喜びを子供たちの脳裏にひっそりと仕舞い込み、いずれかの時期に、あの時の感動を思い起こさせるのも、今の世の中だからこそ親の責務と思うのは考えすぎだろうか。

## 「東京八王子プロバスクラブ」 ホームページの案内

### 1 はじめに

当クラブがホームページを開設したのは、2004年1月30日だった。当時の情報委員長武田会員が中心になって、準備に時間をかけた。その後2年、専任で管理している武田会員のご努力で内容は充実し、行事やお知らせなどが積極的に取り上げられ、掲載されるまでの時間も早くなった。例えば生涯学習サロンの記事はすでに第2週（3月23日）の様子が写真入りで翌日から見られた。また、会員の活動の記事では立川会員が関係されている「八王子フィルハーモニー合唱団特別演奏会」（4月1日）の案内がポスター入りで紹介され、「大高、松尾、武田会員が出演します」との注釈まである。

パソコンをいじり、インターネットに関心のある方だと、いろいろなホームページをご覧になったり、情報入手に利用されたりしていると思うが、そうでないとなかなか関心を持っていただけないきらいがある。ここでは、ご覧になっていない方を念頭に、どのような情報が提供されているのか、若干解説をしてみたい。次ページにホームページの顔に当たる最初の部分(ホーム)を載せておいたので、それをご覧になりながら読んでほしい。

### 2 最初のページは入り口で奥が深い(次ページ参照)

- ① 最上段にあるクラブの名称などの囲みの下にホーム、プロフィール・・・などと続くが、この部分を閲覧者がクリックすると、それぞれ説明ページへ入っていくことができる。

**プロフィール**；当クラブの組織や活動、会則抜粋、歴代会長名、**プロバス賛歌**；歌詞や楽譜、**活動状況**；委員会、同好会、対外奉仕活動、**プロバスだより**；1号から124号までの記事、**生涯学習サロン**；目的、過去のサロンのテーマと話し手及び内容、等々を知ることができる。

- ② 次にページの左側を見るとたくさんの囲みが続く。例えば**トピックス**をクリックすると、生涯学習サロンの開講式やサロン、野外研修、10周年記念式典や演奏会などの写真と説明が見られる。同様にして、**生涯学習サロン**ではさらに内容別に分類した実施テーマを知ることができる。例えば**社会・生活**14テーマ、**自然・生物**8テーマ、**趣味・余暇**22テーマ、**人生論**9テーマ、**八王子**9テーマが過去9回のサロンの中で取り上げられたこと、その内容と話し手などが一覧できる。**会員活動紹介**は会員の自主活動その他の紹介コーナーとなっている。

- ③ 右側のお知らせの囲みを見ると、**次回の例会日**では場所や時間、**サロン**ではカリキュラムと概要が紹介されている。さらに、インターネットを利用する人へのサービスとしてフリーソフトの紹介やWorld Probus(世界のプロバスクラブ紹介)、プロバス協議会、東京八王子南ロータリークラブ、会員や会員の属する団体等々関連する他のホームページへ閲覧のためのリンクがあるのも便利である。

- ④ 中央のTOP記事は1面の見出しにもなるもので、新着情報が入る。サロンテーマの変更のお知らせなどもある。

### 3 ホームページに辿り着くには

http://www.tokyo-hachioji-probusclub.jp がホームページのアドレスである。このアドレスを忘れていたら「Yahoo Japan」、「Google 日本」その他いろいろな検索エンジンで「八王子プロバス」、「プロバス、八王子」といった言葉で探せば簡単に我がホームページに辿り着くと思う。当クラブの情報入手、あるいはプロバスクラブの活動の宣伝にホームページを活用して欲しいものである。(橋本鋼二)

新会長ご挨拶

06.3.30 11:59 AM



since  
1995

# 東京八王子プロバスクラブ

http://www.tokyo-hachioji-probusclub.jp

2005-2006テーマ: タヤけのまちの明日を照らそう

設立  
1995.7.13

開設  
2004.01.30

ホーム

活動状況

|           |
|-----------|
| ホーム       |
| プロバスクラブとは |
| プロフィール    |
| プロバス賛歌    |
| 会長挨拶      |
| 活動状況      |
| プロバスだより   |
| トピックス     |
| 生涯学習サロン   |
| 映画・音楽     |
| 科学・情報     |
| 健康・QOL    |
| 社会・生活     |
| 自然・生物     |
| 趣味・余暇     |
| 人生論       |
| 人物像       |
| 世界        |
| 八王子       |
| 美術        |
| 文学        |
| 法律        |
| ボランティア    |
| 歴史        |
| 話題        |
| リンクリスト    |
| フリーソフト    |
| 八王子面白発見   |
| 会員活動紹介    |

## TOP記事

### =新着情報=

茶色文字をクリックしてください  
 ☆第10回生涯学習サロン3月23日第2週開講  
 ☆プロバスだより最新号更新しました  
 ☆会員の活動更新しました  
 ☆同好会便り更新しました ゴルフコンペ・囲碁大会開催  
 ☆2006年八王子のイベントを更新しました

☆生涯学習サロン・テーマ変更のお知らせ  
 第3週(4月13日) B:「革命家、孫文の生涯を視る」 は、話し手の都合により中止になり、B:「井戸端会議ー我が町、八王子のまつりー」  
 話し手:宮崎浩平 に変更になりました。  
 ご迷惑をおかけしますが、第3週については、再度ご希望を調査いたします。

過去の情報は「トピックス」をご覧ください

## 第10回生涯学習サロン第2週開講

第10回生涯学習サロンの第2週サロンが3月23日、八王子エルシーにて開催されました。

A:テーマ「ごみ リサイクルへの挑戦」 話し手:矢島一雄会員

八王子においてごみの有料化が実施されてから、早くも一年が経過しました。家庭から排出される可燃ごみや不燃ごみにおいては、初期の目標値である、前年比25%減を大きく上回り、また、資源ごみの回収においても、前年比で増加を示すなど、市民の理解もあって、ごみ有料化の成果が着実に現れています。

しかし、一方では不法投棄によるごみが、前年比40.5%と増えるなど、新たな課題も見つかっており、その対策が求められています。

このような状況を踏まえて、八王子市が従来方式の収集から処分といったごみ問題に決別をし、原料から再利用へと大きな政策転換を図ったところから現在に至るまでの経過や問題点等を中心に八王子のごみ問題を考えてみたいと思っています。

| September 2005 |     |     |     |     |     |     |
|----------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| Sun            | Mon | Tue | Wed | Thu | Fri | Sat |
|                |     |     |     |     |     |     |
|                |     |     |     |     |     |     |
|                |     |     |     |     |     |     |
|                |     |     |     |     |     |     |
|                |     |     |     |     |     |     |
|                |     |     |     |     |     |     |

2005/03/30

17/0/0

### お知らせ

- 次回例会  
18年 4月13日  
(木) 第126  
回例会  
時間:12時~  
場所:八王子エルシー
- 第10回生涯学習サロン本文に紹介しました  
「カリキュラムと日程」  
「概要紹介」
- フリーソフト新設  
フリーソフトの紹介をしました。
- リンクリスト更新  
リンク先を追加しました。
- プロバスだより  
各号の内容を表示しました。